

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

小千谷市教育委員会

# 【目 次】

## I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

1	教育委員会 第4回定例会	(令和3年4月21日開催)	……	1
2	教育委員会 第5回定例会	(令和3年5月19日開催)	……	1
3	教育委員会 第6回定例会	(令和3年6月15日開催)	……	2
4	教育委員会 第7回定例会	(令和3年7月21日開催)	……	2
5	教育委員会 第8回定例会	(令和3年8月18日開催)	……	3
6	教育委員会 第9回定例会	(令和3年9月15日開催)	……	3
7	教育委員会 第10回定例会	(令和3年10月20日開催)	……	4
8	教育委員会 第11回定例会	(令和3年11月15日開催)	……	4
9	教育委員会 第12回定例会	(令和3年12月21日開催)	……	4
10	教育委員会 第1回定例会	(令和4年1月18日開催)	……	5
11	教育委員会 第2回定例会	(令和4年2月22日開催)	……	5
12	教育委員会 第3回定例会	(令和4年3月28日開催)	……	6

## II 教育委員会における事務の点検及び評価

### 1 学校教育の充実

#### (1) 幼児教育の充実

ア	子どもと保護者で学ぶ機会の提供	……	6
イ	子ども読書活動の推進	……	7
ウ	相談体制の充実	……	8

#### (2) 小・中学校教育の充実

ア	学校の創意を活かす教育の推進	……	8
イ	情報活用能力の育成	……	9
ウ	教職員の指導力向上	……	9
エ	ふるさと教育・キャリア教育の推進	……	9
オ	震災体験を活かした防災教育の推進	……	10
カ	いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進	……	10
キ	読書活動の推進	……	11
ク	英語教育・国際理解教育の充実	……	12
ケ	非核平和教育の推進	……	12
コ	食育の推進	……	13
サ	学校給食の運営	……	13

(3)	特別支援教育の充実	
ア	就学相談体制の充実	14
イ	特別支援教育の充実	14
ウ	総合支援学校の運営	15
エ	生徒への就労支援	15
(4)	教育環境の整備	
ア	学校施設の整備	15
イ	学校給食施設の整備	16
ウ	I C T環境の整備	16
(5)	育英事業の推進	
ア	育英事業に対する支援	17

## 2 生涯学習の推進

(1)	生涯学習事業の推進	
ア	学習機会の拡充	18
イ	自主活動グループの活動支援	19
ウ	公民館活動の充実	19
エ	障がいのある人の生涯学習の推進	20
オ	図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用	20
カ	人材育成の推進	21
キ	情報サービスの充実	21
ク	子ども読書活動の推進	21
(2)	青少年の健全育成	
ア	青少年への相談支援	22
イ	青少年育成指導体制の確保	22
ウ	家庭教育に対する支援	23
エ	地域ボランティアへの活動支援	24
オ	勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討	24

## 3 文化の振興

(1)	文化・芸術の振興	
ア	芸術鑑賞の機会の拡充	25
イ	文化団体などの育成支援の継続	25
(2)	文化財等の保存と活用	
ア	埋蔵文化財の調査・保存	26
イ	郷土資料館の整備	26
ウ	文化財の普及啓発・活用	27
エ	後継者の育成	27

#### 4 スポーツの振興

##### (1) 生涯スポーツ・競技スポーツの振興

- ア 生涯スポーツの推進 ..... 27
- イ 競技スポーツの推進 ..... 28
- ウ 障がい者スポーツの普及 ..... 29
- エ 団体支援、人材育成 ..... 29
- オ 健康・体力づくりの推進 ..... 29

##### (2) 体育施設の整備

- ア 体育施設の整備・充実 ..... 30
- イ 屋外運動公園の改修・設備更新 ..... 31

#### 5 人口減少対策

- ア 少子化対策と子育て支援の推進 ..... 31

### Ⅲ 点検及び評価に対する意見等 ..... 32

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、小千谷市教育委員会の令和3年度における事務の管理及び執行の状況について、教育施策が着実に執行されているかなど、学識経験者からご意見をいただきながら、点検及び評価を行い、その結果を報告するものです。

教育を取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、市教育委員会の事務・事業につきまして一層のご理解を深めていただくとともに、「人を育み文化の香るまちづくり」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

小千谷市教育委員会

#### 【学識経験者】

- ・ 水野宏志（新潟県立小千谷高等学校教頭）
- ・ 藤井和夫（小千谷市社会教育委員会委員長）
- ・ 吉原正幸（小千谷市スポーツ協会会長）

## I 教育委員会の会議の開催及び審議状況

令和3年度に教育委員会定例会を12回開催し、19件の議案を審議しました。また、議事録承認12件、陳情1件、協議報告事項は102件でした。審議の結果は、以下のとおりです。

### 1 教育委員会第4回定例会

- ・ 日時 令和3年4月21日(水) 午後3時35分～午後4時48分
- ・ 場所 市民会館大会議室
- ・ 議事録承認 令和3年第3回定例会
- ・ 議事 (1件)

議案第14号 (非公開)	臨時代理について（附属機関の委員の人事について）	原案承認
-----------------	--------------------------	------

- ・ 協議報告事項（6件）
  - ・ 新入学後の子どもたちの様子について
  - ・ 令和3年度教育委員・管理指導主事学校訪問日程調整について
  - ・ 米領バージン諸島小千谷市来訪中止について
  - ・ 成人式の実施について
  - ・ 信濃川河岸段丘ウォークの開催方法の変更について
  - ・ 全県教育長会議の報告について

### 2 教育委員会第5回定例会

- ・ 日時 令和3年5月19日(水) 午後3時55分～午後5時02分
- ・ 場所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和3年第4回定例会

・ 議 事 (3件)

議案第15号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第16号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
議案第17号 (非公開)	附属機関の委員の人事について	原案承認

- ・ 協議報告事項(2件)
  - ・ 教科書採択地区協議会について
  - ・ 運動会の日程について

### 3 教育委員会第6回定例会

- ・ 日 時 令和3年6月15日(火) 午後2時00分～午後2時53分
- ・ 場 所 市役所403会議室
- ・ 議事録承認 令和3年第5回定例会
- ・ 議 事 (2件)

議案第18号	小千谷市文化財保護条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第19号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認

- ・ 協議報告事項(5件)
  - ・ 東京オリンピック・パラリンピック大会ホストタウン推進事業について
  - ・ 杉並区ホームステイ・ホームビジット事業について
  - ・ 魚沼神社阿弥陀堂の茅葺屋根全面葺替及び企画展の開催について
  - ・ 市民オペラ(カルメン)の開催について
  - ・ 学校訪問の様子について

### 4 教育委員会第7回定例会

- ・ 日 時 令和3年7月21日(水) 午後4時03分～午後5時10分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和3年第6回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第20号	中学校教科用図書の採択について	原案可決
--------	-----------------	------

- ・ 協議報告事項(9件)
  - ・ 市議会第2回定例会一般質問について
  - ・ 総務文教委員会委員との意見交換について
  - ・ 小千谷市教職員のコロナワクチンの優先接種について
  - ・ 一学期のいじめ・不登校等について
  - ・ 令和3年度新潟県少年の主張大会～わたしの主張～市内選考結果について
  - ・ 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式について
  - ・ 令和3年度トップアスリート・ジュニアアスリートについて

- ・令和3年度成人式について
- ・学校訪問の様子について

## 5 教育委員会第8回定例会

- ・日 時 令和3年8月18日(水) 午後3時15分～午後3時38分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・議事録承認 令和3年第7回定例会
- ・議 事 (1件)

議案第21号 (非公開)	臨時代理について(附属機関の委員の人事について)	原案承認
-----------------	--------------------------	------

- ・協議報告事項(5件)
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う部活動、施設等の対応について
  - ・中学校県大会、北信越大会の結果について
  - ・パラリンピック県内集火式について
  - ・新潟県少年の主張大会～私の主張～長岡地域地区大会の結果について
  - ・秋の視察研修について

## 6 教育委員会第9回定例会

- ・日 時 令和3年9月15日(水) 午後4時15分～午後5時31分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・承議事録認 令和3年第8回定例会
- ・議 事 (1件)

議案第22号	小千谷市いじめ防止基本方針の改定について	原案可決
--------	----------------------	------

- ・陳 情 (1件)

陳情第1号	小千谷市教育の振興に関する要望書	原案可決
-------	------------------	------

- ・協議報告事項(11件)
  - ・令和3年度全国学力学習状況調査の結果について
  - ・2学期始業式における児童生徒の出欠の状況について
  - ・「中越大震災の日」に係る取組について
  - ・科学作品展覧会の対応について
  - ・抗原検査キットの配布について
  - ・部活動の対応について
  - ・体育・文化施設及びスポーツ少年団の対応について
  - ・成人式の日程について
  - ・2021 おぢや謎とき!?ウォークラリーについて
  - ・視察研修の内容について
  - ・総合教育会議の議題について

## 7 教育委員会第10回定例会

- ・ 日 時 令和3年10月20日(水) 午後1時38分～午後3時06分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和3年第9回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第23号	教育委員会委員の議席の決定について	原案可決
--------	-------------------	------

- ・ 協議報告事項 (6件)
  - ・ 市議会第3回定例会における一般質問について
  - ・ おぢやっ子教育プランの改訂について
  - ・ 小千谷市スポーツ講演会について
  - ・ 第41回小千谷市展について
  - ・ 中越地区中学校駅伝競走大会の結果について
  - ・ 総合教育会議の議題について

## 8 教育委員会第11回定例会

- ・ 日 時 令和3年11月15日(月) 午後4時14分～午後4時58分
- ・ 場 所 市役所402会議室
- ・ 議事録承認 令和3年第10回定例会
- ・ 協議報告事項 (9件)
  - ・ 総務文教委員の学校視察について
  - ・ 当市への寄付について
  - ・ 県優秀教職員表彰について
  - ・ おぢやしごと未来塾について
  - ・ 小千谷学生寮見学バスツアーについて
  - ・ イングリッシュセミナーについて
  - ・ プログラミング体験講座について
  - ・ 文化・スポーツ行事について
  - ・ 県中学校駅伝競走大会の結果について

## 9 教育委員会第12回定例会

- ・ 日 時 令和3年12月21日(火) 午後2時55分～午後4時10分
- ・ 場 所 総合体育館体育団体室
- ・ 議事録承認 令和3年第11回定例会
- ・ 議 事 (1件)

議案第24号	特別支援学校及び特別支援学級用の教科用図書の採択について	原案可決
--------	------------------------------	------

- ・ 協議報告事項 (7件)
  - ・ 第4回市議会定例会における一般質問について
  - ・ 生理用品の設置について



- ・「年初めスポーツイベント」について
- ・西脇順三郎賞の創設について
- ・おぢやしごと未来塾の報告について
- ・イングリッシュセミナーの報告について
- ・小千谷学生寮見学バスツアーの報告について

## 1 0 教育委員会第 1 回定例会

- ・ 日 時 令和 4 年 1 月 1 8 日(火) 午後 3 時 5 8 分～午後 4 時 4 6 分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和 3 年第 1 2 回定例会
- ・ 議 事 (1 件)

議案第 1 号	おぢやっ子教育プランの改訂について	原案可決
---------	-------------------	------

- ・ 協議報告事項 (4 件)
  - ・ 卒業式の日程と出席について
  - ・ 成年年齢の引き下げ後の成人式の名称について
  - ・ 3 学期始業式における児童生徒の出欠状況について
  - ・ 県中学校スキー大会の結果について

## 1 1 教育委員会第 2 回定例会

- ・ 日 時 令和 4 年 2 月 2 2 日(火) 午後 3 時 5 7 分～午後 5 時 0 2 分
- ・ 場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・ 議事録承認 令和 4 年第 1 回定例会
- ・ 議 事 (4 件)

議案第 2 号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和 3 年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)補正予算(第 1 3 号)について))	原案可決
議案第 3 号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(令和 4 年度小千谷市一般会計(教育委員会所管)当初予算について))	原案可決
議案第 4 号	臨時代理について(議会の議決を経るべき事件の議案についての意見の申し出について(小千谷市立小学校建設基金条例の一部を改正する条例の制定について))	原案可決
議案第 5 号 (非公開)	令和 4 年度管理職教職員人事異動の内申について	原案承認

- ・ 協議報告事項 (7 件)
  - ・ 新型コロナウイルス感染症による休校等の状況について
  - ・ 小学校における卒業式対応について
  - ・ スポーツ少年団及び行事・イベントの対応について
  - ・ 令和 3 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査の結果について

- ・当市への寄贈について
- ・エデュケーショントークについて
- ・全国中学校スキー大会の結果について

## 1.2 教育委員会第3回定例会

- ・日 時 令和4年3月28日(月) 午後4時00分～午後5時05分
- ・場 所 健康・こどもプラザ会議室
- ・議事録承認 令和4年第2回定例会
- ・議 事 (3件)

議案第6号	小千谷市立図書館運営規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第7号	小千谷市就学援助事業実施要綱の一部を改正する要綱の制定について	原案可決
議案第8号 (非公開)	臨時代理について(教育委員会事務局、教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事を行うことについて)	原案承認

- ・協議報告事項(7件)
  - ・令和4年度小千谷市教職員の人事異動について
  - ・教育委員会関連の小千谷市褒賞者について
  - ・市議会第1回定例会一般質問について
  - ・卒業式の感想について
  - ・第35回信濃川河岸段丘ウォークの開催について
  - ・小千谷学生寮の状況について
  - ・令和3年度教育委員会総括について

## II 教育委員会における事務の点検及び評価

第五次小千谷市総合計画に定める施策のうち、教育委員会が所管する施策について点検・評価を行いました。

具体的には、後期基本計画に分野別に体系づけられた「施策の基本方針」について、令和3年度の取り組み状況を点検・評価したものであり、その結果は以下のとおりです。

なお、取組状況を補足するうえで、小千谷市が調製した「令和3年度 主要な施策の成果説明資料(兼事務報告)」(以下「資料」という。)を参照することが適当なものは、資料の該当ページを表示しました。

### 1 学校教育の充実

#### (1) 幼児教育の充実

##### ア 子どもと保護者で学ぶ機会の提供

### 【令和3年度の取組み】

- 幼児期における家庭教育の普及・振興を図るための講演会や親子教室等を、幼稚園等を会場として実施した。

実施回数 7（幼稚園等） 参加者数 432人

### 【成果及び今後の取組み等】

- 家庭教育の普及・振興を図るため、幼児期における家庭教育の課題解決のため保護者に情報提供を行うとともに、幼稚園等と連携して幼児教育の充実を図った。
- 健やかな子どもの成長のために、早い段階から基本的な生活習慣を身につけることが重要であることから、健康部局や公民館分館と連携し、啓発する必要がある。
- わんパークの子育て講座終了後の受講者による自主サークル化への誘導が必要となる。（親同士の相談、仲間づくり、主体的な問題解決）

## イ 子ども読書活動の推進

### 【令和3年度の取組み】

- 図書館の本を団体貸出として、幼稚園や保育園等に配本した。  
536件 7, 342冊（ただし、小中学校、団体等の延べ数）
- 赤ちゃんの頃から絵本に親しみ、絵本を通じて親子の時間ができるよう、市の10ヶ月児健診を受診する親子を対象に実施するブックスタート事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、読み聞かせを行わず絵本等のプレゼントのみの月もあった。

実施回数 6回（4～7月、12～1月） 98人

プレゼントのみとなった実施回数

6回（8～11月、2、3月） 88人

※資料P170～175 「○図書館経費」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- ブックスタート事業を関係部局と連携し実施することで、家庭での乳幼児への読み聞かせの啓発が進んでいる。
- ブックスタート事業後のフォローアップ活動を行い、家庭での読書が継続していくための働きかけをしていく必要がある。
- 保育園等では読み聞かせや、家庭への貸し出しが実施されており、保護者への情報提供や啓発活動を多くの園で行っている。
- 子どもの本を用意する親が多いことから、今後も保育園等を通じて、本に親しむ機会を作り、併せて保護者への啓発を推進していく。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、本を手に取りやすく、本に興味を

わくような空間づくり、展示方法を工夫していく。

## ウ 相談体制の充実

### 【令和3年度の取組み】

- 教育支援委員会、保育園等関係機関と連携し、就学に関する情報交換及び就学相談に対応した。
- 就学相談をより円滑に推進するため、各園における特別支援教育の相談窓口となる発達支援コーディネータを各園に配置し、研修会の実施や小学校との情報交換を行った。
- 各園を対象とした巡回訪問を行い、就学相談等への助言や就学前から園児についての情報収集を行った。

※資料P151～155 「○教育指導経費」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- 各園と学校との連携及び調整を円滑に図ることができた。
- 巡回訪問や各園への発達支援コーディネータの配置により、早期からの就学相談が定着してきている。
- 幼保小の就学相談に関わる連携体制の充実を図る。
- 特別支援教育に係る研修の充実を図る。

## (2) 小・中学校教育の充実

### ア 学校の創意を活かす教育の推進

#### 【令和3年度の取組み】

- 「おぢやっ子教育プラン」（令和元～3年度）の内容を学校訪問の際に各学校に周知し、教育プランの理解を図った。
- 「おぢやっ子教育プラン」に基づき、校長のリーダーシップのもと、各校が「おりなす教育推進事業」計画を立て、家庭・地域と共に学校・地域の特色を生かした実践を行った。
- 各校の「おりなす教育推進事業」を冊子にまとめ配付している。各校は他校の取組を参考にすることができる。

※資料P151～155 「○教育指導経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 学校訪問等を通して、直接「おぢやっ子教育プラン」の教職員への周知を図ることができた。また、教育長より市教研総会にて年度の重点について説明があり、共通理解が図られた。
- 「おぢやっ子教育プラン」のよこ糸である家庭や地域の役割を各学校がグ

- ランドデザインに取り入れている。家庭・地域への周知が図られ、好ましい生活習慣の確立やインターネット等の利用について理解が深まっている。
- 中学校で全面実施となった学習指導要領の趣旨に沿い、社会に開かれた教育課程の創造に向け、一層取り組んでいく。

## イ 情報活用能力の育成

### 【令和3年度の取組み】

- 一人一台パソコンを活用し、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業実践が進んだ。休校中や学級閉鎖中におけるオンライン授業の実践に取り組んだ。

### 【成果及び今後の取組み等】

- GIGAパソコンの利用が進むことに並行して「情報モラル教育」が重要になってくる。ICT教育推進委員会を中核に対応していく。  
セキュリティソフトのインストールなど安全にパソコンを利用できる環境をつくっていく。
- 小千谷の子は長時間SNSを利用する傾向にあることが児童生徒質問紙により明確になった。SNS利用のルールについて改訂「おちやっ子教育プラン」（令和4～6年度）にて扱っていく必要がある。

## ウ 教職員の指導力向上

### 【令和3年度の取組み】

- 教育委員会や教育センター主催の研修会を実施した。
- 市教育研究会と連携した指導力向上研修と若手教員対象の小千谷塾及び全小・中学校への市教委訪問における指導助言で、教職員の指導力向上を図った。
- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の実施結果を各校で分析し、学力向上や生活習慣等の向上に取り組むように指導した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 全国学力・学習状況調査や児童生徒質問紙の結果分析を夏休み中に実施し、2学期以降の指導に生かすことができた。
- 新採用教員が増えている。小千谷塾での個別指導をとおして、教員としての基本的な資質を獲得することができた。
- 令和4年度は、中越教育事務所に要請して算数・数学の重点指導を受ける。市立学校全体の学力課題に対応していく。

## エ ふるさと教育・キャリア教育の推進

### 【令和3年度の取組み】

- 「おりなす教育推進事業」を実施し、子どもたちが、小千谷の自然・歴史・人と繰り返しかかわる（おりなす）教育を推進し、ふるさとに誇りをもち、夢に向かって進む礎づくりを行った。
- コロナ禍であったが、市内の企業及び事業所からの協力を得て工夫をすることで、中学校1・2年生対象の「おちやしごと未来塾」を実施することができた。「職場体験活動」についても感染対策の上で2年生を対象に3日間実施した。

※資料P151～155 「○教育指導経費」参照

**【成果及び今後の取組み等】**

- 各校が地域の特色を捉えた特色あるふるさと教育・キャリア教育を推進できた。
- キャリアパスポートの活用を進める。校種が変わっても継続して利用し、個々に求められる資質・能力を育んでいく。

**オ 震災体験を活かした防災教育の推進**

**【令和3年度の取組み】**

- 「防災教育の推進」を「おちやっ子教育プラン」に位置付け、年間を通して計画的に防災教育を推進した。
- 中越大地震を風化させない取組を各校で推進した。
- 中学校3年生対象の「おちや防災塾」を実施し、災害時に命を守る行動を学んだ。

※資料P151～155 「○教育指導経費」参照

**【成果及び今後の取組み等】**

- 「おちや震災ミュージアム そなえ館」の活用が進み、震災への心構えができてきている。
- 地域を巻き込んだ防災訓練や体制整備を進める。
- 洪水や土砂災害など自然災害が頻繁に起こる状況になっている。地域の安全を意識し、地域の安全を守る子どもたちを育んでいく。

**カ いじめ・不登校対策と人権感覚を育む教育の推進**

**【令和3年度の取組み】**

- 児童生徒のいじめ報告や出欠状況報告を毎月、学校に要請している。報告を基に青少年育成センター所長、教育センター「マイルーム」指導員、市教育相談員、学校教育課管理指導主事で毎月、相談会を行ない、実態把握や対応の検討を行っている。

- 「いじめ・不登校等対策協議会」を開催し、SNSに係るいじめの事例を県警のサイバー犯罪対策課サイバーセキュリティ戦略係の職員から提供いただき、それをもとに協議を行った。
- 「いじめ対策専門委員会」を開催し、令和3年度に実際に起きた事例を基に、様々な立場から、いじめ対応についての専門的なご意見をいただいた。
- 生徒指導主事・生活主任対象のいじめ・不登校対応研修を年2回、実施し、対応力の向上を図った。
- 「新潟県人権教育基本方針実践のための教職員研修の手引き」が改訂された。これを基に一層の人権教育、同和教育を推進していく。

※資料P151～155 「○教育指導経費」参照

※資料P155 「○適応指導教室経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 学校の早期発見・早期対応により、いじめの重大事態はなかった。
- 生徒指導担当者研修を受けて、各校でいじめに関する教職員研修が行われ、教職員のいじめに対する知識や対応能力の育成が図られた。
- 小学校での不登校児童生徒が増加しており、より組織的かつ継続的な未然防止の取組と不登校児童生徒への早期対応が必要である。
- 不登校については、学級担任が抱えることなく、校内での協力体制や外部機関との連携を図っていく必要がある。教育委員会がハブの役割を果たしていく。
- 同和教育に関わる教職員の研修支援を継続していく。

### キ 読書活動の推進

#### 【令和3年度の取組み】

- 各学校の要望により図書館が出向き、大型紙芝居や読み聞かせを行う「学校おはなし会」を1小学校で実施した。
- 遠隔地へのミニ移動図書館の実施を行った。
  - 1小学校 計7回 貸出延べ84人、232冊
- 数冊の図書をテーマに沿って紹介し、本への関心や読書への意識向上を図るブックトークを実施した。
  - 4小学校 計16回 参加者延べ436人
- 夏休みに向けて、小中学生向けの「図書館だより」を発行し、読書や図書の情報提供を行った。
- 小中学校においては、「朝読書」などの全校一斉読書について取り組んだ。
- 小学校では読み聞かせやブックトーク、ペア読書など、中学校ではおすすめ本の紹介や年間貸出ランキングの作成、また、図書POPコンテストの

実施・表彰などの委員会企画が行われている。

※資料P170～175 「○図書館経費」参照

**【成果及び今後の取組み等】**

- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、読書教育、資料の活用等について学校図書館と連携を図っていく。
- 学校の昼休みにイベントの告知などに伺うことで、大勢の参加者を得ることができた。今後も図書館で学校向けに行っている各種サービスの利用が増えるよう、学校に向けてさらに情報発信をする。
- 学校図書館担当者連絡会議などで情報交換を行うことで、ブックトークなどの学校向け事業の利用につながり、子どもたちが読書へ興味を持つきっかけづくりとなった。
- 授業に関連した教材提供など、学校の要望に対応するよう連携を図る。
- 書架整理や新着図書の入庫など地域ボランティアと連携して行うことで、学校図書館を訪れやすい環境に整える必要がある。

**ク 英語教育・国際理解教育の充実**

**【令和3年度の取組み】**

- ALT 3名、外国語指導助手1名、英語教育推進員1名を配置し、外国語教育、国際理解教育を推進した。
- ウィンターイングリッシュキャンプは新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、小学生半日、中学生半日で実施した。

※資料P151～155 「○教育指導経費」参照

**【成果及び今後の取組み等】**

- 令和3年度は感染症対策をした上で、ウィンターイングリッシュキャンプを実施でき、児童生徒の国際理解の推進、英語力向上を図ることができた。令和4年度も推進していきたい。
- 1名のALTが令和3年度末で帰国した。ALT 2名体制となった分、外国語指導助手と英語教育推進員から小学校中学年の外国語活動を補助してもらいながら進めていく。

**ケ 非核平和教育の推進**

**【令和3年度の取組み】**

- コロナ禍により、予定していた被爆体験伝承講話会等は実施できなかった。その代わりに被爆に関するビデオを広島からお借りして、各校にて視聴した。



### 【成果及び今後の取組み等】

- ビデオ視聴を通して生命や平和の大切について学ぶことができた。
- 令和4年度は非核宣言30年の節目の年となる。企画政策課の事業に協力をしていく。
- 中学生の広島平和記念式への派遣に協力していく。

## コ 食育の推進

### 【令和3年度の取組み】

- 給食週間の実施や給食だよりの発行など、学校給食を通して、児童生徒及び保護者に対し食に関する正しい知識と望ましい食習慣について周知を図った。毎月の食育の日（19日）に市内統一の「おぢやっ子わくわくメニュー」を提供することで食育の推進を図った。
- 市内全校での小千谷産コシヒカリを使用した米飯給食の実施や、地元農家等と協働して地場産野菜を使用することで、地産地消の観点から食育についての啓発を図るとともに、食を通じて地域の理解を深めた。更に、地場産物の利用促進を図るため、地元納入業者及び農家と懇談会の場を設けた。
- 「10.23 中越大震災の日給食」として、震災時を想定し、備蓄できる食品を活用しながら、簡単な調理作業により提供できる献立による給食を市内統一で実施した。

※資料P177～178 「○学校給食経費 ○学校給食センター経費」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- 地場産物の活用により、食育の生きた教材となる学校給食としての役割を果たしている。また、地元納入業者及び農家との懇談会を継続し、小千谷産の地場野菜の利用向上を推進していく。
- 栄養教諭や学校栄養職員を中心に、児童生徒及び保護者に対して学校給食、授業、試食会等を通して食育を継続していく。また、「おぢやっ子わくわくメニュー」を継続し、食育の啓発を図る。
- 学校給食を通じた防災体験活動として「10.23 中越大震災の日給食」を継続し、併せて児童生徒の防災意識の向上を図る。

## サ 学校給食の運営

### 【令和3年度の取組み】

- 調理員等の資質向上のため、研修会を実施した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 安全・安心な給食を提供するため、調理員等を対象とした研修会を継続して行う。

- 学校給食センターの調理・運搬業務の厳正かつ適正な指導・評価を行い、引き続き安全・安心な給食の提供に努める。

### (3) 特別支援教育の充実

#### ア 就学相談体制の充実

##### 【令和3年度の取組み】

- 就学相談の手引となる「就学相談の進め方」を見直し、就学相談体制の充実を図った。
- 各園の「発達支援コーディネータ」を対象とした研修会を実施し、園での就学相談体制を整えるとともに、小学校への情報提供を行い、適正な就学に努めた。
- 各園への巡回訪問を行い、園児の様子について情報収集し、その後の就学相談につなげた。

##### 【成果及び今後の取組み等】

- 就学相談について保護者と学校との調整を図ることで、就学前児童の円滑な就学を進めることができた。
- 保育園・認定こども園と小学校との円滑な連携が進められた。
- 各園職員の特別支援教育への理解、各小中学校の専門相談員の適切な就学の相談や判断のあり方等の研修を進めていく。

#### イ 特別支援教育の充実

##### 【令和3年度の取組み】

- 小・中・総合支援学校に特別支援アシスタント32名、小学校に学校支援員16名を配置し、個のニーズに応じたよりきめ細やかな支援に取り組んだ。
- 地域における特別支援教育の充実を図るため、総合支援学校に設置された地域支援・特別支援教育推進部の活用を進めた。
- 総合支援学校のセンター的機能を活かした相談支援ネットワークの構築を図った。

※資料P158 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P160～161 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P163 「○特別支援学校教育振興経費」参照

##### 【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校の地域支援・特別支援教育推進部が、各園や学校と積極的に連携し、児童生徒の個別の相談や支援を進めた。
- 発達障がいと疑われる児童生徒に対する適切な支援を学ぶ研修をさらに充

実させる。

## ウ 総合支援学校の運営

### 【令和3年度の取組み】

- 地域コーディネータを配置し、各校と総合支援学校との連携を図った。
- 総合支援学校主催の研修講座を年5回実施し、市の特別支援教育の充実を図った。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 総合支援学校とその他の学校、保育園・認定子ども園との連携が年々充実してきている。
- 教員のニーズに応じた研修講座を実施し市内教職員の積極的な参加を促す。

## エ 生徒への就労支援

### 【令和3年度の取組み】

- ハローワーク主催の企業説明会への参加や市内企業、障がい者就労施設での現場実習に取り組んだ。

### 【成果及び今後の取組み等】

- コロナ禍で市内企業や障がい者就労施設での実習が困難であった。そのため校内での模擬実習に力を入れることで成果につなげた。  
コロナ禍においては、更に生徒の希望に沿った多くの受け入れ先を開拓していく必要がある。
- 令和3年度の高等部の卒業生5名の内、2名が企業就労、3名が福祉サービス事業所利用であった。

## (4) 教育環境の整備

### ア 学校施設の整備

#### 【令和3年度の取組み】

- 小学校の校舎整備工事を実施した。
- 特別教室エアコン設置工事を実施した。

〈主な工事〉

- ・千田小学校プールろ過機ろ材入替工事
  - ・千田小学校プールろ過機操作弁他取替工事
  - ・和泉小学校プールろ過機操作弁他取替工事
  - ・片貝小学校給食室給湯配管漏水対応工事
- 中学校の校舎整備工事を実施した。
  - 特別教室エアコン設置工事を実施した。

<主な工事>

- ・小千谷中学校プールろ過機ろ材入替工事
- ・小千谷中学校プールろ過機集水管取替工事
- ・小千谷中学校プールろ過機操作弁取替工事

○総合支援学校の校舎整備工事を実施した。

<主な工事>

- ・総合支援学校屋外避難路整備工事

※資料 P159 「○小学校施設整備事業」参照

※資料 P162 「○中学校施設整備事業」参照

※資料 P162～163 「○特別支援学校管理経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 小中学校の特別教室エアコン設置工事により、夏季の特別教室使用時における学習環境が改善された。
- 各種修繕、改修工事により校内環境の改善、向上が図られた。
- 学校施設の老朽化や教育環境の変化に対応した施設整備を計画的に実施する。

<今後の主な工事>

- ・片貝小学校東校舎大規模改造工事
- ・千田中学校 2階西側バルコニー防水改修工事
- ・片貝中学校 1階管理諸室冷暖房設備更新工事

## イ 学校給食施設の整備

【令和3年度の取組み】

- 給食センター調理室・配膳室他冷暖房設備改修工事
- 給食センターコンテナ消毒保管室用熱風送風機改修工事を実施した。

【成果及び今後の取組み等】

- 今後も計画的に老朽化した施設設備の改善を図り、安心・安全な学校給食を推進していく。

<今後の主な工事>

- ・吉谷小学校給食室食器消毒保管庫入替工事

## ウ ICT環境の整備

【令和3年度の取組み】

- 学習端末の活用を図るため、教職員対象の活用研修を実施した。
- ICT教育を推進するため、情報通信技術支援員の配置及び教育情報教育

業務委託の拡充を行った。

○総合学習支援ソフトの整備及びデジタル教材の充実を図った。

○教職員等が使用する校務支援ソフトを整備した。

※資料P156～157 「○教育センター経費」参照

※資料P158 「○小学校教育振興経費」参照

※資料P160～161 「○中学校教育振興経費」参照

※資料P163 「○特別支援学校教育振興経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

○ICT活用授業実践研修や学習端末活用研修を実施し、教職員のコンピュータ活用能力と情報活用能力の育成が図られた。

○情報通信技術支援員及び外部委託により、各校のICT教育推進を支援しながら進めたことで円滑な導入を図れた。引き続き、教職員の負担が過度にならないよう学校の取組を支援する。

○総合学習支援ソフトの整備により学習端末を使用した授業が活発化された。更に活用を図るため、教職員のフォローアップ研修を進めていく。

○校務支援システムのグループウェア機能により個人連絡も容易に行えるようになり、学校を超えた情報共有や課題解決に向けた取組を進めることができた。引き続き、通知表作成など事務のデジタル化を進め、事務負担の軽減を図る。

### (5) 育英事業の推進

#### ア 育英事業に対する支援

##### 【令和3年度の取組み】

○(公財)小千谷奨学会において、経済的な理由により就学困難な者に対し奨学金の貸与を行った。

・貸与者数 新規 16人 継続 50人 計 66人

・令和3年度貸付総額 18,757千円

○(公財)小千谷奨学会において、小千谷学生寮を運営し、共同生活を通じた健全な学生生活の向上と、経済的負担の軽減を図った。

・学生寮入寮者数(4月1日現在)

新規 3人 継続 10人 計 13人

※資料P151 「○学校教育総務経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

○小千谷学生寮見学バスツアーの実施や紹介動画の作成などを行い、学生の入寮を促進した。

- 育英事業の充実を図るため、(公財)小千谷奨学会の学生寮運営経費等に対して助成を継続する。
- ホームページやポスター・パンフレットなどの有効な手段を用いて、小千谷学生寮の入寮生募集に努めていく。

## 2 生涯学習の推進

### (1) 生涯学習事業の推進

#### ア 学習機会の拡充

##### 【令和3年度の取組み】

- 第2次生涯学習推進計画に基づき、市民に学習機会を提供した。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら高齢者教育や青少年・家庭教育など多様な学習機会の提供に努めた。また子育て関連講座では、オンラインと集合学習の同時開催とした。
- 公民館のコーディネーター機能を発揮し、関係課や施設が連携して青少年体験活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、大半が中止となった。
- 障がい者の学習機会の充実を図るため、市内の障がい福祉サービス事業所が実施する学習活動への支援に加え、市民会館で集合型学習を行った。
- 特別な配慮が必要なお子さんをはじめとした、子育てに悩んでいる方を対象に学習機会を提供した。
- 市民に対して市政に関する学習機会を提供し、主体的な市民活動の基礎を作るため、令和3年度から出前講座を実施した。(実施回数：30回、参加者数：延べ1,132人)
- 成人の学習機会として、集中セミナー「学ビュッフェ」を実施した。(前期：4コース、実施回数：14回、参加者数：延べ151人 後期：7コース、実施回数：33回、参加者数：延べ304人)

※資料P164 「○社会教育総務経費」参照

※資料P168～169 「○公民館事業」参照

##### 【成果及び今後の取組み等】

- コロナ禍でも、継続的な学習機会を提供し、活動が実践できた。
- 第2次生涯学習推進計画の浸透を図るとともに、関係機関・団体等と連携し、生涯学習課の持つコーディネーター機能を発揮しながら計画を推進していく。
- ツイッター等のSNSやチラシ、地元新聞などを活用して、様々な情報を発信することで、市民から関心をもってもらおうよう努める。
- 成果や効果を実感できるプログラム作りに努め、継続的・循環的な学習を提供する必要がある。

- 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスのとれた学級・講座の開催や参加しやすい環境づくりに努めることにより、生涯学習への関心を高め、参加者の増加を図っていく。
- 公民館分館においては、地域課題などの解決のため、専門の講師による出前講座を活用しながら、学習機会の仕組みづくりを推進する必要がある。
- 障がい者の生涯学習を推進し、学習の機会を充実させるため、障がい福祉サービス事業所や高校生・ボランティアと連携しながら、集合型学習の機会を提供する必要がある。
- 出前講座のプログラムの見直しを行い、内容をさらに充実させる必要がある。

## イ 自主活動グループの活動支援

### 【令和3年度の取組み】

- 社会教育団体登録制度により、69団体に対し社会教育施設の利用に対して支援を行った。
- 公民館等で実施している講座から、新たに自主サークルとして学習活動へ移行するための助言・指導を行った。
- 市内で活動する障がい者団体の職場体験活動に協力した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 登録した社会教育団体に対して、利用した使用料の支援を行った。
- 市民会館の利用者は、社会教育登録団体の利用が多く、減免措置を講ずるなど今後も自主的に活動しているグループの支援を継続する必要がある。

## ウ 公民館活動の充実

### 【令和3年度の取組み】

- 高齢者学級、美術教室、外国人のための日本語教室、家庭教育地域交流振興事業を実施した。
- シニア世代を対象としたステップアップシニアを前・後期に分け実施した。  
(全8回開催)
- 公民館分館活動においては、文化・スポーツ事業を中心に延べ11,009人が参加した。

※資料P167～169 「○公民館経費 ○公民館事業」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- ステップアップシニアではコロナ禍でも継続的に学習できるよう、前半は出前講座を活用した座学、後半は山歩きやまちあるきなどのフィールドワークを中心に活動した。

- 40～50代の交流を促し、地域課題の解決にむけた人材の育成を図る必要がある。
- 市民のニーズを把握し、関係団体との連携・協力により多様な講座の開催や参加しやすい環境づくりに努める必要がある。
- 市職員による出前講座を活用するなど、質の高い学習や交流の深まる学習プログラムを展開し、受講者の生活課題の解決に向けた学習機会の提供に努める。
- 公民館分館の活動について、ツイッター等のSNSやチラシ、地元新聞などを活用した情報を発信することで、市民から関心をもってもらうよう努める。
- 中山間地域の公民館分館において、高齢化や人口減少により活動の停滞が見られることから、分館活動のあり方について検討する必要がある。

## エ 障がいのある人の生涯学習の推進

### 【令和3年度の取組み】

- 関係事業所や団体と連携して、障がい者の学習機会を充実するため施設での学習会に講師を派遣した。(全4講座、実施回数：5回、参加者数：延べ111人)
- 誰でもが参加できる集合型の学びの場として、ボッチャ教室を開催した。(実施回数：5回、参加者数：延べ97人)

### 【成果及び今後の取組み等】

- ボランティアや高校生が参加した形でボッチャ教室を開催し、障がいへの理解を深めることができた。
- 引き続き、障がい福祉サービス事業所や高校生・ボランティアと連携しながら、集合型学習の機会を提供していく必要がある。

## オ 図書館をはじめとする生涯学習施設の整備・活用

### 【令和3年度の取組み】

- 新図書館等複合施設の設計や運営に市民が参画する場として小千谷リビングラボ「at!おぢや」を開催した。(7回開催)
- 老朽化の進む社会教育施設の整備を行った。  
市民学習センター冷温水発生機更新工事
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として施設の整備を行った。  
市民会館全熱交換器更新工事

### 【成果及び今後の取組み等】

- 新図書館等複合施設設計について、小千谷リビングラボ「at!おぢや」などを通じて市民との対話をしながら基本設計が完了した。



- 新図書館等複合施設の運営や情報環境を整備するための計画書の作成を行う。
- 老朽化の進む社会教育施設を優先し、計画的な施設整備を進める。
- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、新図書館や郷土資料館等の多様な機能を持つ複合施設の整備を進める。

## カ 人材育成の推進

### 【令和3年度の取組み】

- 今後の実施に向け、人材育成事業のプログラムを検討するため、市内事業所の方から集まっていただき検討会を2回実施した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 検討会において、人材育成研修のプログラムの概要が策定できた。
- 検討会での意見をもとに、日程や講師を決定し、人材育成研修を実施する。

## キ 情報サービスの充実

### 【令和3年度の取組み】

- 図書館では、月ごとに展示している特集コーナーに地域の情報を発信する月を設け、市民に身近な情報を提供した。
- デジタル情報活用のため、親子で参加できるプログラミング教室を実施した。(1回 20人参加)

### 【成果及び今後の取組み等】

- 市民に有益な情報が提供できるよう、企画や情報発信を行うとともに、職員の資質向上のための研修等を実施する。
- プログラミング体験というこれまで実施したことがない講座のため、新しい層の参加者があった。枠組みに縛られず自由な発想でプログラミング等を行う講座内容が好評であったため、今後も実施する。

## ク 子ども読書活動の推進

### 【令和3年度の取組み】

- 読書活動推進のため定期的なおはなし会や季節に合わせて「夜のおはなし会」や「クリスマスおはなし会」など、子どもと読書をつなげる事業を実施した。
- ボランティアグループと協力してブックトークや読み聞かせの活動を実施した。
- 新たな利用者を確保するため、図書館や郷土の謎を解きながら図書館を知ってもらおうイベント開催した。(2回 計182人)
- 小千谷高等学校、小千谷西高等学校と連携して秋の読書週間にPOP展や

読み聞かせ等を実施した。

- 利用者のぬいぐるみを預かり図書館を探検し、それにあわせて図書をお薦めする「ぬいぐるみお泊まり会」を実施した。

※資料P170～175 「○図書館経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 「第2次子ども読書活動推進計画」に基づいた取組みを進める。
- 図書館を知ってもらうために開催した謎解きイベントは、小学校の昼の放送時に告知に何うなどPRを行った効果もあり盛況であった。また、このイベントで初めて図書館に来たという新たな利用者の獲得につながった。
- 本の特集コーナーやミニコーナーの展示方法を工夫し、展示を新しいものに定期的に替えることで特集本の貸出数が増加した。
- 高校生との連携事業は、今年から小千谷西高等学校が参加し、連携や事業内容がより充実した。
- 高校生が自主的に企画、活動できる場として図書館を利用できるよう働きかけていく。
- 本による読書体験とあわせて、様々な形態での情報や体験が取得できるサービス体制を構築する必要がある。

## (2) 青少年の健全育成

### ア 青少年への相談支援

#### 【令和3年度の取組み】

- 面談、電話相談、電子メールによる相談を実施した。青少年の悩みに応え、人生の目標を見出すよう導くための対応を行った。(相談件数 延べ50件)
- 相談者は主に中学生、高校生であり、電話による相談が多い。数年にわたる継続的な相談もある他、無言電話も増加している。

※資料P166～167 「○育成センター経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 相談内容により他機関の専門相談員と連携し、課題解決の支援ができた。
- 青少年自身の悩みへの対応のほか、子どもの不登校や学校生活における保護者による相談も増えてきており、継続的な支援を行っていく必要がある。

### イ 青少年育成指導体制の確保

#### 【令和3年度の取組み】

- 青少年育成センター運営協議会、青少年補導委員会、青少年問題協議会に

よる会議を開催した。

- 街頭補導を年間44回実施し、従事者は延べ131人、声かけをした少年は514人であった。
- 青少年の健全育成に関する活動を推進するため、青少年育成指導委員が親子手作り教室の指導を実施した。

※資料P166～167 「○青少年対策経費 ○育成センター経費」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 青少年補導委員による街頭補導活動（愛の一声運動）、関係機関との合同パトロールを実施し、青少年の実態を把握できた。その結果、問題行動はほとんどなかった。
- 青少年育成センターを中心に学校・地域・PTAなどと連携を図り、広報活動による啓発活動を通して、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進する。
- 参加者の達成感の醸成、他者との交流や人的ネットワークを形成するため、青少年キャンプ等の体験活動を実施する必要がある。
- 青少年育成指導委員が学んだ知識や技術等、学習成果が生かせるような技術の向上を目指す研修会を実施する必要がある。
- 青年期世代の支援を行っていくため、ニーズを把握する必要がある。

### ウ 家庭教育に対する支援

#### 【令和3年度の取組み】

- 乳幼児期・少年期における家庭教育の啓発を図るため、家庭教育地域交流振興事業として小中学校や幼稚園が行う講演会等に講師を派遣する等の支援を行った。（実施回数：18回、参加者数：延べ1,188人）
- 令和2年度より取り組んだ「子育て講座」に加え、令和3年度より新たに、子どものやる気を出すための子どもとの接し方について学ぶ、保護者一般向けの「子どもの心のコーチング講座」、問題行動のある子どもへの具体的な対応方法について学ぶ「ペアレントトレーニング講座」を開催した。（全3講座、実施回数：7回、参加者数：延べ104人）

※資料P168～169 「○公民館事業」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 子育てに悩みを抱える保護者に対して、幅広い内容の講座を提供することができた。
- 子どもを取り巻く状況や社会の課題を的確にとらえた講座、教室を学校・PTAなどと連携し、今後も継続して実施する必要がある。

- 行政機関や関係団体と情報を共有し連携しながら、講座を開催するように努める。
- 家庭におけるメディアコントロールや基本的な生活習慣を身に付けるための啓発活動を強化する。

## エ 地域ボランティアへの活動支援

### 【令和3年度の取組み】

- 放課後子ども教室における学校ボランティアの情報交換のための代表者会議を開催した。また、資質向上のために特別な配慮を必要とする子どもへの対応について研修会を実施した。
- 高齢者学級のサークルや社会教育活動団体が、小学校においてボランティア活動が行えるよう調整した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 放課後子ども教室ではボランティアとして新たに中学生が参加した。
- 地域ボランティアの活動の励みとなるよう、今後もいきいき県民カレッジ「成果活用手帳」を希望者に配布していく。
- 地域ボランティアの資質向上のため、行政機関が実施する各種研修会に積極的に参加するように努め、地域ボランティアの拡充や交流を推進していく必要がある。

## オ 勤労青少年への活動支援と活動拠点施設の検討

### 【令和3年度の取組み】

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ホットプラザ祭は中止した。
- 教養講座として、延べ98講座・教室を開催した。
- 講座の参加者を対象とした講座に対するアンケート調査を実施した。
- 講座の参加者がより主体的に活動を行うよう、自主グループ化に向けて指導・助言を行った。

※資料P104～105 「○勤労青少年ホーム運営事業」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- 成人向けの教養講座として延べ98回の講座・教室を開催することができ、学習機会を提供することができた。
- ホットプラザ祭の開催など交流の場を提供し、若者世代のつながりの強化や育成を推進していく必要がある。
- 若者のニーズを把握するように努め、課題に対応した学習機会を提供する必要がある。
- 講座・教室への新規の参加者を増加させるため、SNSを活用した講座・

教室のPRを実施し、勤労青少年を始めとした幅広い世代への情報発信に努める。

### 3 文化の振興

#### (1) 文化・芸術の振興

##### ア 芸術鑑賞の機会の拡充

###### 【令和3年度の取組み】

- 市民オペラ「カルメン」公演へ向けた練習等準備を行うとともに、オペラ公演へ向けた活動を通じて県内外へ小千谷の歴史文化・芸術文化の情報発信を行った。また市民オペラへの機運醸成及び上質な芸術に触れる機会を提供するため、日本の第一線で活躍するオペラ歌手によるコンサートを開催した。
- 小千谷で初となる『遺跡』を主題とした企画展「発掘されたおぢやの遺跡 2021～おらしよも遺跡だねっか?!～」を開催した。観覧者から質問を受け、それを展示パネルに仕上げるという、参加型の展示を実施した。(来場者1,024人)
- 若年層の作品創出意欲を高めるとともに、市民が気軽に芸術に触れる機会を提供するため、市民会館で小千谷中学校美術部作品展を開催した。

###### 【成果及び今後の取組み等】

- 演奏会等を開催することで、市民の文化・芸術への関心を高めることができた。今後も継続して日本を代表する演奏家によるコンサートや、親子が気軽にコンサートを体験できる機会を提供するように努める。
- 県内外へ小千谷の歴史文化・芸術文化の発信を行うとともに、市民オペラへの機運醸成及び上質な芸術に触れる機会を提供する。また、参加する市民合唱団が主体となり芸術文化における基盤を形成できるような支援を行う必要がある。
- 芸術文化の充実を図るため、他の自治体施設との相互協力を図っていく必要がある。

##### イ 文化団体などの育成支援と継続

###### 【令和3年度の取組み】

- 市民オペラ「カルメン」公演へ向け、市民合唱団に対してプロの音楽家指導による練習の機会を提供し、芸術文化における基盤形成のきっかけを創出した。
- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、多彩な活動を展開する文化団体への支援を行った。  
基金活用団体 2団体
- 市内で活動する個人や団体に対し、活動の成果を発表する機会として、市

- 民文芸のつどい・文芸おぢや発刊・小千谷市美術展覧会などを開催した。
- 市民学習センター「楽集館」において、団体等が作品展示する機会を提供した。
- 小千谷市美術展覧会では、市内高等学校と連携して、ポスターの制作を行った。
- 市内高等学校と連携して、フォトセミナーを開催し、制作や作品展示する機会を提供した。(デッサン教室と陶芸教室は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。)

※資料P168～170 「○公民館事業 ○芸術文化振興事業」参照

**【成果及び今後の取組み等】**

- 市内の未就学児や小中学生からなる子ども合唱団を形成し、市民オペラ「カルメン」公演に向けた合唱の練習会を実施した。
- 小千谷市美術展覧会では、コロナ禍における対応を実行委員と考え安全に配慮して実施できた。
- 引き続き、市内高等学校と連携して、制作や出展する機会を提供するように努める。

**(2) 文化財等の保存と活用**

**ア 埋蔵文化財の調査・保存**

**【令和3年度の取組み】**

- 各種開発に伴う埋蔵文化財の試掘調査を城内地区等、延べ9ヶ所で行った。

**【成果及び今後の取組み等】**

- 埋蔵文化財の試掘確認調査、分布調査により、小千谷市域で縄文時代～室町時代の遺跡、33件を発見した。
- 令和4年度以降も県営圃場整備や国道道改良工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査を予定しており、関係機関等と連携・協力し進める。

**イ 郷土資料館の整備**

**【令和3年度の取組み】**

- 文化施設建設基金の預金利子を積立てた。現在高は約7億1,492万2千円となった。
- 新図書館及び郷土資料館の開設に向け、設計を進めている。

**【成果及び今後の取組み等】**

- 生涯学習・地域の情報発信の拠点として、図書館や郷土資料館等の多様な

機能を持つ複合施設の整備を進める。

- 現在収集・保管する資料を、今後保存・活用していくための整理作業を進めている。
- 整理作業の成果として、これまで未公開であった資料を用い、市民会館や市内郵便局等で展示・公開を行うことができた。
- 展示・公開を通して、展示資料における市民ニーズを確認し、郷土資料館の展示や活用方針を検討する必要がある。

## ウ 文化財の普及啓発・活用

### 【令和3年度の取組み】

- 国指定文化財「魚沼神社阿弥陀堂」の屋根葺替工事にあわせ、新発見となる上杉謙信関連文書等や魚沼神社にまつわる文化財を展示した企画展「国指定重要文化財 魚沼神社阿弥陀堂 保存修理記念企画展～魚沼神社、人々と刻んだ500年の歴史～」を魚沼神社、土川町内会と協働し展示を行った。(来場者762人)
- 市指定文化財「魚沼神社太々神楽」の神楽面・宮太鼓の修理および後継者育成事業を関係団体と連携し実施した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- 企画展は小千谷にゆかりのある内容で実施し、市民のみならず市外の方からも好評を得た。
- 引き続き文化財を活用し、市民から文化財の理解を深めてもらう必要がある。

## エ 後継者の育成

### 【令和3年度の取組み】

- 小千谷縮布技術伝承者養成事業補助金などにより、小千谷縮技術保存協会が実施する後継者養成事業を支援した。

※資料P164～165 「○文化財保存事業」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- 伝統文化の保存と継承のため、小千谷縮技術保存協会等と連携し、継続した取組みが必要である。

## 4 スポーツの振興

### (1) 生涯スポーツ・競技スポーツの振興

#### ア 生涯スポーツの推進

### 【令和3年度の取組み】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月6日（金）から9月16日（木）まで、体育施設等が休館・休止となったことや、その後の感染状況の影響により、西小千谷地区、東小千谷地区、岩沢地区及び真人地区での高齢者向けの運動教室や、幼児と保護者向けの親子運動教室は、途中から休止せざるを得ない状況となった。
- 生涯スポーツ活動の推進を図るため市内各団体からの依頼に対して、スポーツ推進委員を講師として派遣した（16回）。

※資料P178～181 「○社会体育振興事業」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- 高齢者の運動教室は人気が高く、運動の習慣化が図られていることもあり、今後も継続して取り組む。
- 親子運動教室は、幼児期の運動習慣が子どもの発達に良い影響をもたらすことの認識が浸透してきており、関係団体等と調整、連携を図りながら事業を継続して取り組む。

### イ 競技スポーツの推進

#### 【令和3年度の取組み】

- 各種スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止せざるを得ない大会もあったが、感染対策を講じながら、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して開催した。
- ジュニア層の競技水準の向上を図るため、学校、市スポーツ協会、種目別競技団体等と連携して、ジュニア選手の育成・強化に努めた。また、全国で活躍し、世界を目指すトップレベルの選手の活動支援を行った。

※資料P178～181 「○社会体育振興事業」

P181 「○スポーツ振興基金事業」参照

#### 【成果及び今後の取組み等】

- スキーやソフトテニス、陸上、バレーボール、サッカー、フットサル、バスケットボール、ラグビー、野球等の競技で全日本選手権大会、国民体育大会、全国高等学校総合体育大会等の全国大会出場者へ報奨金を交付し、支援した（54件）。
- 全国、世界に通用する選手・チームを数多く輩出できるように、今後も市スポーツ協会及び種目別競技団体等と、さらに連携して取り組む。
- 国際交流・文化・スポーツ振興基金を活用し、今後も全国大会以上の大会へ出場する選手・団体に対し、報奨金を支給するとともに、世界の舞台で活躍する選手のサポート事業を実施する。



- オリンピック、パラリンピック大会などへの出場を目指す選手の支援に取り組む。

## ウ 障がい者スポーツの普及

### 【令和3年度の取組み】

- 障がい者スポーツ理解促進普及交流事業として、ボッチャの講習会を実施した（10回 参加者数延べ123人）ほか、3月には17チーム、61人の参加を得てボッチャ大会を開催した。

### 【成果及び今後の取組み等】

- ボッチャ大会の開催等により、障がいの有無に関わらず、ともにスポーツに親しむ機会が創出されてきており、今後も障がい者スポーツの普及交流を通じて、障がいに対する理解を広める取り組みを進める。

## エ 団体支援、人材育成

### 【令和3年度の取組み】

- 長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会の指導者育成事業を活用し、指導者の養成と資質向上を目的とした講習会を開催した。
  - ・種目別競技（野球、クロスカントリースキー）講習会（各1回、参加者数延べ204人）
  - ・専門指導者活用事業（64回 参加者数延べ1,547人）
- スポーツ推進委員の資質向上のため、スポーツ推進委員協議会での情報交換のほか、当市及び他市で開催された合同研修会に参加した。

※資料P178～181 「○社会体育振興事業」参照

### 【成果及び今後の取組み等】

- 質の高い指導を求める声が高まっており、今後も長岡地域定住自立圏スポーツ振興部会や新潟県の事業等を活用し、ニーズに合わせた実技講習会や、指導方法、コミュニケーションスキル向上も取り入れた、ジュニアスポーツ指導者のための講習会を開催する。
- 幅広い年齢層の市内各団体から、スポーツ推進委員の講師派遣依頼を受けており、さらなる指導力向上のための内部研修会を実施すると共に、外部研修へも継続参加する。

## オ 健康・体力づくりの推進

### 【令和3年度の取組み】

- 拠点施設である総合体育館トレーニングルームのマシン整備を行い、利用者の利便性の向上を図るとともに、利用者にトレーニングメニューの提

供を行った。

新規登録者数 159人 利用者数 26,359人

○健康づくりと成人の運動習慣化を図るため、健康こいこいポイント事業（ポイント制の運動教室）を行った。

□新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自宅でもできる体操の資料を作成し、配布した。

□運動のきっかけづくりとなる事業や体力測定会を定期的に行い、運動に関する相談窓口を設けた。

《健康ポイント事業》

※事業主体は、健康未来こども課

□健康教室 地域編 2会場 参加者数延べ31人

一般編 2会場 参加者数延べ19人

□体力ヘルスチェック 10回 参加者数延べ122人

□運動コンシェルジュ 7件

### 【成果及び今後の取組み等】

○総合体育館トレーニングルーム利用者のニーズ把握に努めるとともに、市民の体力づくりに繋がる施設としても活用を図る。

○健康こいこいポイント事業では、参加すると運動の良さを体験し、健康意識の向上につながっている。

□今後も、関係課や総合型地域スポーツクラブ等と連携し、運動する機会の提供や運動メニューの考案等を通じて、各種スポーツ教室の充実を図る。

□フレイル予防運動器科学講座との連携だけでなく、企業への情報発信も検討し、各年代層にわたる運動の習慣化を図っていくほか、アプリを活用した事業にも取り組む必要がある。

## (2) 体育施設の整備

### ア 体育施設の整備・充実

#### 【令和3年度の取組み】

○老朽化の進む施設を整備した。

白山運動公園クラブハウストイレ改修工事

市民プール50Mプール環水ポンプ更新工事

総合体育館空調設備用自動制御機器更新工事

総合体育館事務室エアコン更新工事

総合体育館メインアリーナ音響設備修繕工事

※資料P181～182 「○都市公園体育施設等管理経費」参照

※資料P182 「○総合体育館経費」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 老朽化の進む施設を優先し、計画的に施設整備を進める。

イ 屋外運動公園の改修・設備更新

【令和3年度の取組み】

- 屋外体育施設整備方針及び施設類型別管理計画・個別施設計画を策定した。

【成果及び今後の取組み等】

- 屋外体育施設の適正配置を進めるとともに効率的な管理運営を行う。

5 人口減少対策

ア 少子化対策と子育て支援の推進

【令和3年度の取組み】

- 独身者に対する出会いの場を創出するため、「ときめきめぐりあい推進事業」を引き続き実施した。
- 令和3年度の会員数は、新規に22名が入会し、全体で175人となった。めぐりあい（お見合い）は25回、イベントは2回実施し、5組の成婚があった。
- 感染症拡大防止のため、少人数での男女のイベント、女子会イベントを実施し、出会いの場や自分磨き、情報交換を行う場を創出した。

※資料P166 「○ときめきめぐりあい推進事業」参照

【成果及び今後の取組み等】

- 会員獲得のため、男女のイベントと女子会型イベントを実施し、新規会員の獲得に努めた。（4回予定のうち1回は中止、1回は令和4年度へ延期した）
- 本事業開始（平成21年度）から令和3年度までに、市外からの転入者は35名となり、誕生した子どもは少なくとも39名を超えた。
- めぐりあいサポートセンターでの会員外の相談や助言から成婚するケースが増加している。
- 公式ライン、インスタグラム、ツイッターの運用を開始し、比較的若い世代をターゲットにした周知を行う。
- サポートセンターを設置している自治体間同士の情報交換や連携を図る。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止を避けるため、少人数イベントを数多く開催する。

### Ⅲ 点検及び評価に対する意見等

令和3年度 of 取組状況等の点検・評価に対する意見等は、以下のとおりです。

#### 1 学校教育の充実

- ・自分の子どもに関する教育には親御さんも関心を持っているが、小千谷の教育になると具体的なイメージが浮かばないのではないかと。小千谷の教育の何か目玉となる、皆が全員ができるような特徴的なものがあるといいのではないかと。
- ・外国人のALTの誰もが一番苦しかったのは、何もやることなく、職員室の中で過ごす時間がとても長かったこと。先生方は忙しくて話しかけるわけにもいかず、担当の先生と授業の計画を立てる時間も取れない。今一つALTの活用ができていないのではないかと。
- ・昨年も今年もコロナが蔓延をして、子どもたちも先生方も対応に追われた一年かと思う。そういう意味でGIGAパソコンは相当機能した。皆さんが努力をして学校生活がきちんに行われるようにされたことは素晴らしいかと思う。
- ・学校訪問をさせていただいて、やはり子どもがマスクをして大人しくなったと感じた。不登校の子どもが増加傾向にあると聞いて非常に心配している。今後の心のケアが重要になってくるかと思うので、その部分に関して今後も手厚く対応していただきたい。
- ・小千谷というとなえ館があり、実際に震災の被害を受けているので、防災教育は一つの目玉になる、切り口にしていただきたい。
- ・タブレットの持ち帰りということの切り口をしている市町村はあまりないかと思う。そのあたりを小千谷市は進めているので、更に力を入れて取り組んでもらいたい、子どもや保護者の声を広げていただきたい。
- ・GIGAパソコンの利用、またICTの推進と平行してスマホの活用、SNSの活用について苦慮している。学校教育で一人一台端末やスマホ等も必需品になってきて活用するのも大事だけれども、大事な本を読む時間とか、そういう取組が欲しい。
- ・リモートで、家庭でタブレットを見て勉強する意識と、集中力を引っ張り出す対面的な授業との違いを、現場にいる先生方は真剣にマイナス面を意識しているか。時代の流れに流されて本来ある読み書きそろばんとはどういうものか、便利な中でも失っていく部分で良いものがあるかと思う。
- ・平和教育では、戦争遺族会から戦争体験などを聞かせてもらう仕組みを作っていて、戦争の話がもっと伝わるようにしたらいいかと思う。
- ・小千谷学生寮は施設も良く親も安心できるので、入寮者を増やし有効に活用されるといいかと思う。

#### 2 生涯学習の推進

- ・ALTは時間の余裕があり、子どもだけでなく大人との交流をしたいという気

持ちもあるので、学校だけに限らず、生涯学習の方で利用してもらい、もっと有意義な使い方ができないか。

- ・小千谷市の取組は、コロナ禍でも市民に対してよくやっていると感じている。
- ・中学生のボランティア活動は、町内の除草作業等を一生懸命に取り組んでいて良いと思う。
- ・都会との山村留学の受け入れ体制を作ってみてはどうか。
- ・いろんな人たちへの声掛けや要支援などの施策を、文書だけではなくて市役所から出向いてもらえば、直接話を聞くためにたくさんの方が集まると思う。

### 3 文化の振興

- ・これまで絵画とか写真はいろいろな賞があった。今度は西脇順三郎賞ができて、文学も文芸誌に載るだけではなくて、頑張れば賞がいただけるということで期待している。
- ・市民オペラに関しては、本当に素晴らしい小千谷の歴史に残るイベントができたと思う。予算面に関しては、去年からの準備の段階でもう少し精査が必要だったのではないか。

### 4 スポーツの振興

- ・数年前から市内大会がなくなり、自分の子どもや孫の活躍する場面を見る機会がない。中学生くらいまでは、見てもらって家に帰ってから家族とのコミュニケーションに繋がっていく大事な部分。近所の学校同士の対抗くらいで家族みんなが見に行けるような機会があればいいと思う。
- ・オリンピックの新しいスポーツで、子どもたちが好きになりそうなスケートボード系などが、これから若い子たち、子どもたちがやってみたいスポーツではないかと思う。ちょっとしたコーナーを設けるとか、きっかけ作りをしていただきたい。
- ・白山のテニスコートを大学の合宿場所に紹介したら、非常に良い施設であり、小千谷は自然豊かで食事も美味しく、競技に専念でき健全な合宿が行える環境にあると評価されている。
- ・屋外競技・スポーツの冬期間の屋内練習場、屋根付き施設は、豪雪地域ということで必要だということを訴えてもらい、前向きに取り組んでいただきたい。
- ・スポーツを通して育てられる心身の評価項目の具現化、どういう所がよくなったのか。悔しさを乗り越えられる心身の強さは身につけているか。

### 5 人口減少対策

- ・少子化対策のときめきめぐりあいには成果が出ているが、人口減少対策としては決定的なところに繋がっていない。ただ、子育てへの支援などの前に結婚しないのだから、そういう点から考えるといい取り組みだと思う。

令和3年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書

令和4年8月

編集・発行 小千谷市教育委員会

〒947-0028 小千谷市城内四丁目1番38号

(小千谷市健康・こどもプラザあすえ〜る)

電話 0258-83-3519

FAX 0258-83-5779